

# やつおもて

2026 No. 59 (4月号)

編集発行: 和田まちづくりセンター 協力: 和田まちづくりセンター運営推進委員  
電話: 45-1918 E-mail: wada-k@ph-hamada.jp

## ～和田地区いろいろ見て歩く記～

春本番を迎え、自然が色とりどりの美しい色合いを見せる心弾む季節となりました。春には卒業や進学などで「新〇〇」という言葉がよく使われます。新学期・新社会人・新しい人間関係…。

この度、まちづくりセンターたより「やつおもて」は、まちづくり推進委員会広報誌「ピーチ」と合併し、次号より「新しい広報誌」としてスタートします。今までのまちづくりセンター活動や学校支援の紹介に加え、地域課題である耕作放棄地対策の取り組みなど、社会教育とまちづくりの活動を一緒に発信していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。(つぬ)



### 小学生人権標語コンテスト入選作品

## 助け合い みんなの笑顔 あふれだす



旭中学校

### 卒業式



3月7日(土)、旭中学校で卒業式が行われました。和田地区の4名を含む27名が次のステージへ進めます。新たな門出を応援しています。



中学校の3年間、自治会対抗スポーツ交流会では、器具運搬係で協力いただきました。ありがとうございます!



## 第2回運営推進委員会

2月20日(金)、和田地区の第2回運営推進委員会が開催され、令和7年度事業報告及び、令和8年度の事業計画等の検討を行いました。委員の皆様から貴重なご意見を多くいただき、次年度は今ある事業の見直しを丁寧に行い展開していきたいと思えます。

今後も地域の拠点となり、集い・学び・楽しめる場になるよう努めていきます。



## 人権同和教育講演会

3月1日(日)、浜田市人権同和啓発センターの永見英郎さんを講師に迎え同和問題について学び直す会を開催しました。同和問題については、研究の進展などにより、かつて学校で教えられていた内容と現在の教育内容との間に違いがあるとされています。不合理な偏見や思い込みをなくし、1人1人が正しい理解を広げることでどうしたら差別をなくせるのかを考える貴重な時間となりました。



旭小学校6年生

## enjoyゴミ拾い

～海をきれいにするために町のゴミを減らす～

2月26日(木)、旭小6年生が3班に分かれ、賛同して参加された住民の皆さんと一緒に旭運動公園・旭温泉・和田大橋から学校までの道のりを空き缶やペットボトル、吸い殻などのゴミを集めながら歩きました。思っていた以上にゴミが落ちていること、捨てる人がいるという現状を知り児童からは、「僕達の活動を見て今後ポイ捨てがなくなってほしい」との思いを伝えていました。



和田地区まごころ福祉協議会  
協働事業

## 介護予防体操

2月26日(木)、吉川優子さんを講師に迎え介護予防体操を行いました。

リラックス体操や脳トレ体操の他、タオルを使いピンポン玉からビーチボールまで大小さまざまな球を次の人へつなげるレクリエーションでは、なかなか次の人へ上手に渡すことができず、笑い声と歓声で盛り上がりました。最後は、「春よ来い」など懐かしい歌を歌い笑顔あふれる楽しい時間を過ごしました。



目の前で味わえるダイナミックに暴れる8頭仕立ての大蛇の迫力に、みなさん圧倒されていました。

## 第3回 和田地区 神楽響演大会

伝承



戸川神楽社中では、鍾馗大臣を舞うお父さんと一緒にお囃子で親子共演をした幸佑君（右、2年生）と勇樹君（年長）。「練習通り上手にできた。楽しかった！」と、父の背中を見て神楽を受け継いでいます。



大盛況!! 重富親和会（若者会）のおでんや食欲をそそる焼きニンニク、食生活改善推進協議会の皆さんの食べ応え抜群! 野菜たっぷり減塩豚汁や炊き込みごはんを皆さん美味しく食べていました。

和田地区にある4つの社中（※）の皆さんが大切に守り続けている石見神楽を「地域の大切な資源」として、今後も伝承していくことを目的に3月15日（日）、今年も和田地区神楽響演大会が和田まちづくりセンターで開催されました。

軽快なお囃子と豪華絢爛な衣裳に身を包んだ舞手による躍動感あふれる舞に、約100名の来場者も大いに魅了され、会場では何度も拍手喝采が沸き起りました。長年にわたり地域に親しまれてきた和田地区の石見神楽が、次世代へと受け継がれていくよう、皆様のご支援ご協力をよろしく申し上げます。

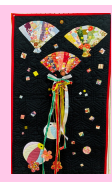
（※ 和田神楽会・重富神楽社中・本郷神楽社中・戸川神楽社中）

## 5館連携事業 ひな在月

和田地区の方々による素敵なタペストリーに「細部まで丁寧に縫ってあり、作り手の思いが伝わってくる」と嬉しい感想がありました。



和田地区在住89歳のお二人は、「きれいだね」、「嬉しいね」と長らく座っておひなさまを見ていました。



3月2日（月）から8日（日）まで（7日を除く）、浜田市旭支所1階多目的室にて「ひな在月」が開催されました。140人近くの来場者は、5館のまちづくりセンターから集合した約150体の華やかなおひな様や長浜人形を堪能されました。

今年は今市放課後児童クラブによる折り紙で作られた可愛らしいおひなさまの作品や中学生が描いたぬりえデザイン画（下絵）にあさひ子ども園の園児が色をぬり、保・小・中が連携した心温まる手作りコーナーの他、「ひな祭りの思い出の写真」や「思い出のエピソード」の募集に寄せられた作品からは、温かな家族のぬくもりや、世代を超えて受け継がれるひな祭りの大切さを感じられました。

# 4月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4 8:30手芸教室
5	6 19:30さくら会 (百歳体操)	7	8	9	10	11
12	13 19:30さくら会 (百歳体操)	14 19:30生花教室	15	16	17	18 8:30手芸教室
19 19:00 和田地区まち づくり推進委 員会-通常総会	20 19:30さくら会 (3B体操)	21	22	23	24	25
26	27 19:30さくら会 (百歳体操)	28 19:30生花教室	29	30		

見て！  
聞いて！

私

の

お

す

す

め

！



大屋孝三さん  
(旭町)

この春から島根県立大学地域政策学部3年になります大屋孝三と申します。僕が今夢中になっていることは、「スポーツ雪合戦」です。全国的にはマイナーなスポーツではありますが、旭町では盛んに行われているのはご存じでしょうか。僕は「零」というチームに所属しており、今シーズンもいくつかの大会に参加させていただきました。先日は、北海道で行われた大会にもチームとして参加させていただき、様々な経験を積んできました。また、地元旭町が大好きなので、現在学生という立場ですが、様々な地域活動にご協力させていただいております。どこかで見かけたら声をかけてください！

次号は、大屋孝三さんが和田地区の農業に携わる5名の方に話を聞き、地域を守っていかうとされる方の思いや願いを取材した内容を「孝三君のおすすめ！」としてご紹介します。お楽しみに！